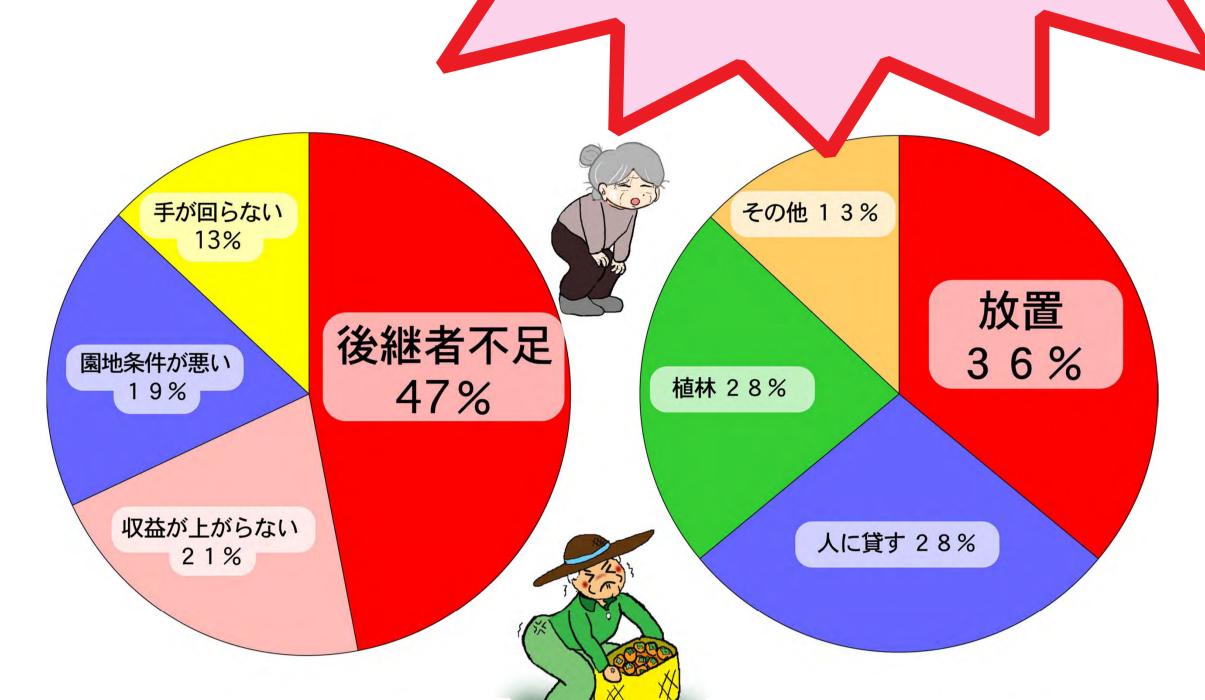
# 高齢者の営農を支える「らくらく農法」の開発

# 解決したい課題・研究開発目標

### 解決したい課題



急傾斜で運搬も大変な畑



耕作を辞める理由 耕作を辞めた畑は?

# 目指す社会像・研究開発目標

高齢営農者があと10年長く営農を続けられる状況を作ることで、農村コミュニティの衰退・荒廃を抑制。定年帰農や新規参入による活性化策が打てるようにする。

農村コミュニティを

高齢者の生きがい豊作地帯(らくらく・楽しく・仕事有り)に!

# プロジェクトの実施方法

プロジェクトの展開方法

# フミューナイ この畑は10年後どうなる? ■既に放棄 ■10年後も続ける! できたら続けたいけれど…… ■残念ながら放棄だろう この畑は大変? ⑤ 大変きつい! ⑥ しんどい… ⑥ 普通 ⑥ まあ楽 ⑥ ラクラク♪

集落の現状を把握する 集落点検法の開発

### 生業(農業)



高齢者向け「らくらく栽培」の開発

# 一道具(機械)



高齢営農者にやさしい電動運搬車の開発

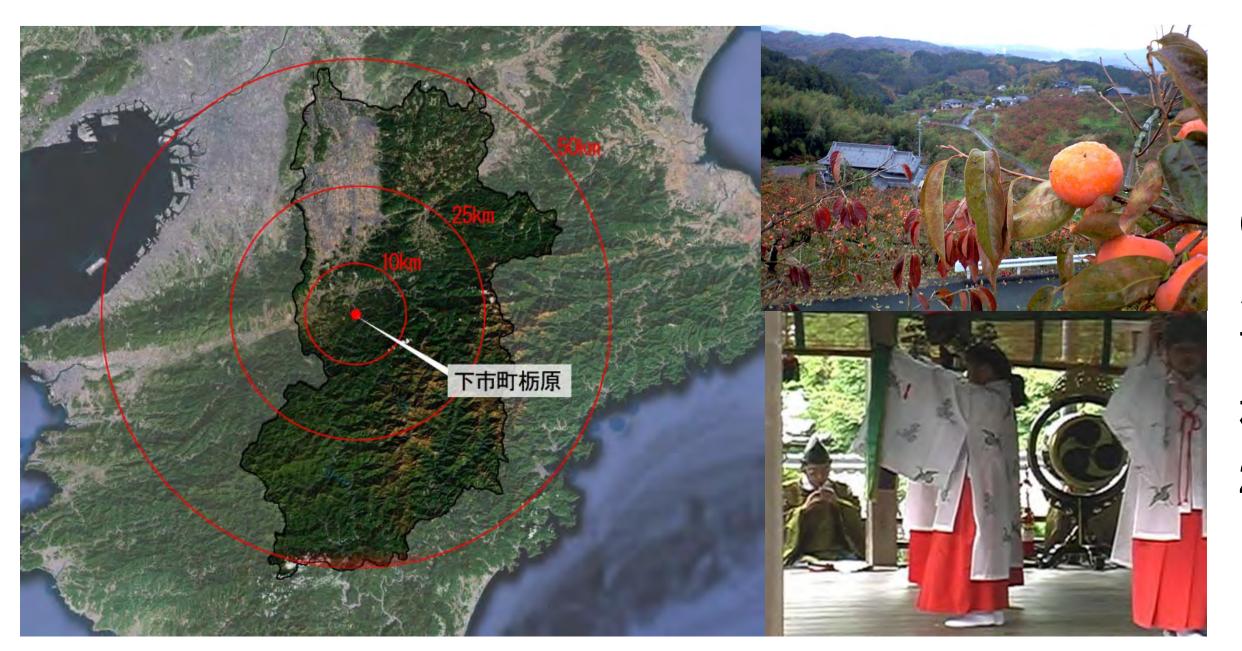
### からだ(健康)



営農者の「からだ点検」 十怪我の予防体操 (らくらく体操)の開発

# 対象コミュニティ 研究開発体制

奈良県吉野郡下市町栃原地区



奈良女子大学、奈良県農業研究開発センター、三晃精機株式会社、奈良高専、下市町

6集落(大塔家・西坊・中村・下村・奥垣内・朝日ヶ丘) 人口281人 世帯数83戸(うち専業農家33戸) 高齢化率34% 柿栽培面積 100ha 20度に達する急斜面が多い古くからの畑が8割 ほとんどの住民が、延喜式に載る「波比売神社」の氏子で、 10月の大祭など伝統行事を村で伝承している。

# 研究代表者: 寺岡 伸悟

奈良女子大学 文学部人文社会学科 教授

# プロジェクトの成果と今後の展望

## プロジェクトの成果(開発した社会技術)

1. 電動一輪車・電動運搬車 2. 集落点検法(らくらく方法式) 3. らくらく栽培 4. らくらく体操 今後の展開・展望

### 「栃原」をきつかけに地域振興の取組みが拡大!



柿葉生産累計100万枚を突破!(H27:50万枚) 県の農村活性化政策の一環として取り上げられ、更なる 展開が進行中。

# 

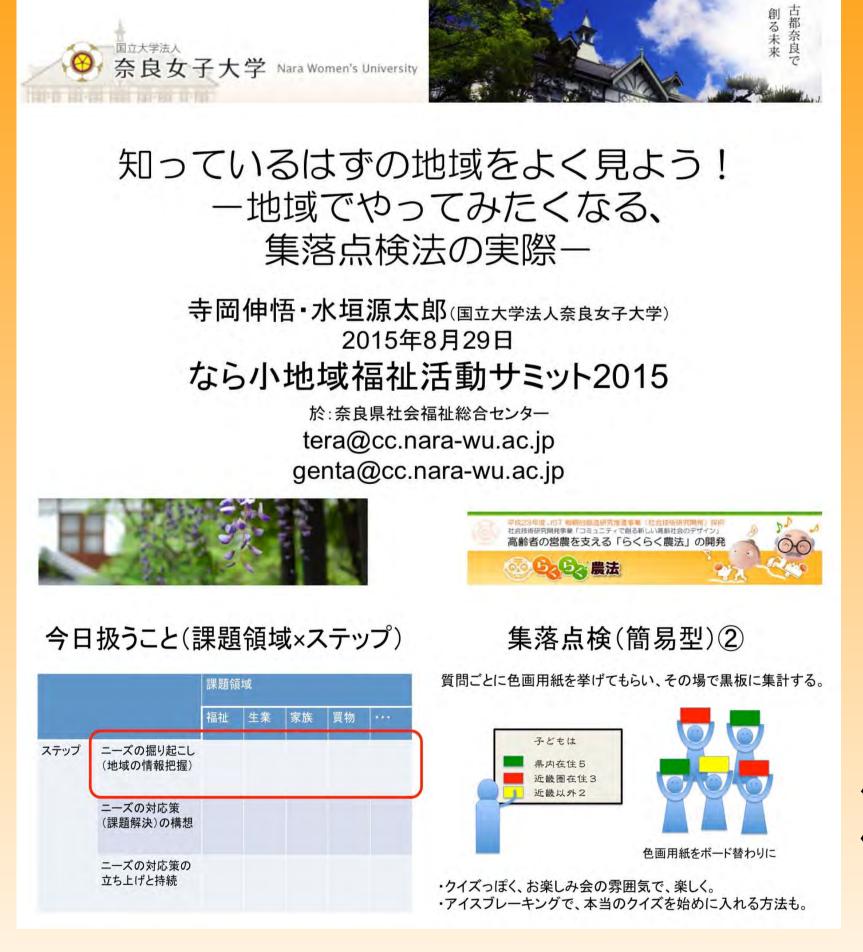
らくらく号一輪車型に補助輪を付けてより取り回しが楽にアップグレード!定価25万円で好評発売中! 一輪車も更に進化しお求めやすい価格に(15万円)。

# 「らくらく体操」とともに、健康講座等を開催!



「らくらく体操」を公開講座で紹介。DVDが下市町の健康講座や奈良県総合リハビリテーションセンターで活用されています!

## 下市町から更に多くの市町村で「集落点検法」を紹介!





農村振興に関わる自治 体職員対象に地域づく り研修を実施(11月)

小地域福祉活動、農福連携、簡易な点検法の開発紹介などの要請に対応中。

### プロジェクトWebサイト・お問い合わせ先



http://www.nara-wu.ac.jp/scc/tochihara/index.html 寺岡伸悟: 奈良女子大学 〒630-8506 奈良市北魚屋西町 Tel: 0742-20-3263 E-mail: tera@cc.nara-wu.ac.jp

更に、本成果は、その後も様々な展開を見せています。

- ・下市TVで放映・ネット配信
- ・奈良女子大学と下市町が 包括的連携協定を締結
- ・トルコで論文発表や新たな 研究連携を計画

